

当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

引き続き、多大なご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。各お知らせの詳細は、右のQRコードよりご確認ください。

面会制限、
夜間施設について



発熱症状で
受診される方へ
[来院前にご確認ください]



松波総合病院柔道部「練習会」と「ドウジョウあそび」のご案内

練習会のご案内

病院内柔道場にて、下記の日程で練習会を行っております。経験者はもちろん、柔道未経験の方でも基本からお教えしますので、ご家族・ご友人などお誘いあわせのうえ、柔道場へお越しください。見学だけでも大歓迎です。

日時 毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です)
17時30分～19時00分

場所 文武両道館

連絡先 058-388-0111(内線 51668)
松波総合病院 柔道部監督 松井 ※参加される方は、事前にご連絡ください。

ドウジョウあそびのご案内

松波総合病院柔道部では「武道」×「医療」×「スポーツ」を柔道場で楽しく身体を動かし、子どもたちの身体能力の発達を促し、大人も子どももワクワクできる「ドウジョウあそび」を開催しています。詳細は右記のQRコードよりご確認ください。



柔道部からのお知らせ

柔道の世界選手権やオリンピック日本代表第一次選考会を兼ねた「2023年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」が11月4日(土)、5日(日)に千葉ポートアリーナで開催され、業務部の杉浦冬唯選手が男子66kg級にて第3位の成績を収めました。この大会結果により全日本柔道連盟男子B強化選手に選出され、国際大会へ多く派遣されることとなります。今後の杉浦選手の活躍にご注目ください。



右から2人目が杉浦選手

グリーンリボンドライバー
ステッカー贈呈式を開催しました

10月12日(木)に公益財団法人岐阜県アイバンク・臓器移植推進財団様より、グリーンリボンスターッカーを贈呈いただきました。ステッカーは病院が保有する救急車、送迎車等66台に貼ります。病院が保有する救急車への貼り付けは県内で初です。



多数傷病者発生訓練を実施しました

10月13日(金)に当院にて多数傷病者発生訓練を実施しました。訓練では大規模災害を想定し、行動確認をしました。トリアージ、紙カルテでの問診対応などを行いました。今後も災害時のスムーズな対応ができるように準備、対策をしていきます。



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

〒501-6062
岐阜県羽島郡笠松町田代185-1
TEL:058-388-0111(代)
FAX:058-388-4711
https://www.matsunami-hsp.or.jp



駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



友だち登録をお願いします!

- 追加方法① 「友だち追加」から「@120mgkg」で検索してください。
- ID検索
- 追加方法② 「友だち追加」から上記のQRコードを読み込んでください。
- QRコード



柔道の受け身技術で骨折・転倒を防ぐ

「転倒予防教室」を開催しました

11月6日(月)に当院の柔道場(文武両道館)にて、高齢者向け「転倒予防教室」を開催しました。



受け身の取り方を教える井上康生先生

講師 井上康生先生(シドニーオリンピック柔道金メダリスト)
紙谷武先生(オリンピック日本柔道チームドクター)

「転倒予防教室」開催の様子

教室には40～80代の約20名の方が参加し、講師の井上康生先生、紙谷武先生指導のもと、受け身や立ち技の動きを用いた、転びにくい体の作り方を学びました。当院の柔道部員もサポート役として参加し、1人1人丁寧にアドバイスをしながら行いました。教室では、転倒した場合でもケガを小さくする受け身の運動「ゆりかご運動」、「後ろ打ち手」をして頭を強打しない体勢を紹介しました。また、柔道の立ち技の1つ、足払いの要素を用いた「片足バランス運動」を講師の実演のもと、実際に体を動かして体験しました。安全に楽しく参加していただき、盛況のまま教室を終えることができました。反響もとても良く、今後も柔道を通して元気な体づくりを広めていきたいと思っております。



転倒予防教室の司会進行をする紙谷武先生



受け身「後ろ打ち手」を学ぶ参加者

介護の原因の上位に骨折・転倒

「骨折・転倒」は脳血管障害、認知症、高齢による衰弱に続いて、介護を必要とする主な原因の1つとなっています。厚生労働省によると要支援・要介護となった原因の第3位は「骨折・転倒」※1、65歳以上の転倒などによる死亡数は交通事故の約4倍※2とあり、高齢者の転倒事故は日常生活に潜む重大な問題となっています。

※1 2019年厚生労働省「国民生活基礎調査」

【65歳以上の交通事故と転倒の死者数の比較】



※2 2020年厚生労働省「人口動態調査」

「柔道」の競技特性が転倒予防に!

「骨折・転倒」の問題を解消するために注目されているのが柔道の競技特性です。柔道の倒されないようにする動きが転倒予防には適しており、バランス能力を向上させます。また転倒した際には衝撃から身を守るための受け身があり、転倒による事故の予防になります。

次ページ「泌尿器科」特集

近年、男性が最もかかりやすいと言われる「前立腺がん」。 完治の為には早期発見・早期治療が重要です。10月に前立腺生体検査システム「BioJet」を導入し、より精度の高い診断が可能となりました。

前立腺がんとは

前立腺がんは、前立腺の細胞が正常に増殖する働きを失い、異常な細胞が修正されることなく増殖してしまうことによって発生します。

前立腺は男性のみにある臓器です。膀胱の下に位置し、尿道のまわりを取り囲んでいます。栗の実のような形をしており、前立腺は精液の一部に含まれる前立腺液を作る働きがあります。

前立腺がんは、早期に発見すれば完治することが可能です。また、多くの場合比較的ゆっくりと進行します。男性の部位別のがん罹患数(2019年)*を見ると、前立腺がんが第1位と最も多く、近年も増加傾向にあります。

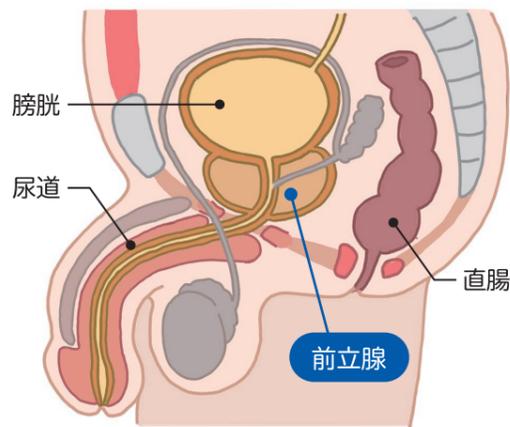
増加している理由として、社会の高齢化、高脂肪食など食生活の欧米化、また診断技術の向上と検診等の普及などが考えられています。

*厚生労働省,国立がん研究センター「2019年の全国がん登録」(2022年5月公表)

症状

- 尿が出にくい
- 排尿の回数が多い
- 残尿感
- 尿失禁
- 腰痛など(がんが骨に転移すると、痛みが起こることがあります)

排尿の症状が現れることがありますが、前立腺がん特有の症状がないほか、早期の段階では自覚症状がないことがほとんどです。気になる症状がある場合は早めに検査を受けることが重要です。



▲前立腺とその周囲

検査方法

PSA検査

前立腺がんを早期発見するための検査です。がんや炎症により前立腺組織が壊れると、PSA(タンパク質の一種)が血液中に漏れ出し、増加します。血液検査でPSA値を調べることで前立腺がんの可能性を調べます。

直腸診

医師が肛門から指を挿入して、前立腺の状態を確認する検査です。前立腺の表面に凹凸があったり、左右非対称であったりした場合には前立腺がんを疑います。

画像診断

CTやMRI検査を必要に応じて行います。CT検査では、リンパ節転移や肺転移の有無を確認するために行われます。MRI検査では、がんが前立腺内のどこにあるのか、前立腺の外へ浸潤がないか、リンパ節へ転移がないかなどを調べます。

前立腺生検

前立腺に針を刺して組織を採取し、顕微鏡でがん細胞の有無を調べる検査です。前立腺がんの確定診断には、この検査が必須となります。

当院では今年10月から、
岐阜県内初となる生体検査システム「BioJet」を導入しました！

生体検査システム「BioJet」…2022年4月から保険適用での検査が可能

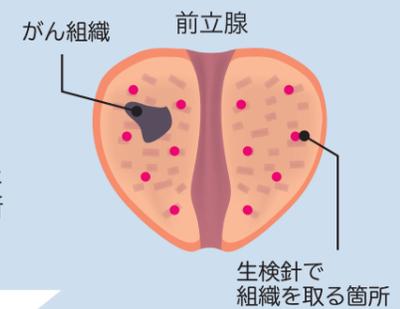
従来の前立腺生検では、超音波画像のみで前立腺を観察しながら、12~16ヶ所以上に生検針を刺して組織を採取します。しかし、超音波画像では前立腺がんの疑いのある部位が必ずしも明確に確認できない場合があります。がんを見逃してしまうリスクがあります。がんを診断されず見過ごされた場合や複数回の生検を繰り返しているうちに、症状が進行してしまうことがあります。

BioJet(バイオジェット)では、MRI画像と超音波画像を融合させて、前立腺がんの疑いのある部位を正確に狙い撃ちする前立腺生検システムです。これにより従来よりも効率的且つ正確に検査を行うことができます。

前立腺生検のしくみ

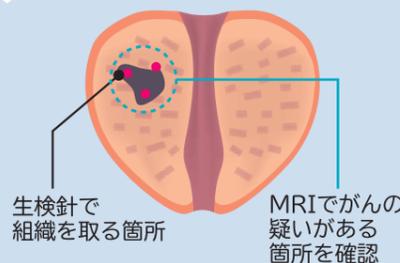
従来の前立腺生検

生検針で組織を採取する際に、運悪くがん組織に当たらなかった場合、「がんではない」という診断結果になってしまいます。



BioJetを用いた前立腺生検

狙った位置へ生検針を刺すことができるため、効率よくがん組織を採取することが可能です。



▲生体検査システムBioJet

前立腺がんの治療

当院では、2011年に岐阜県内で初めて手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術を成功以降、前立腺全摘除術を中心にダヴィンチでの低侵襲治療の実績を重ねております。

現在は「ダヴィンチX」を導入し、小さな傷で体への負担が少なく、回復の早い手術治療を行っております。詳細は泌尿器外来までお問い合わせください。



担当医師プロフィール



泌尿器科部長 兼 血液浄化センター センター長 兼
人工透析センター センター長

石田 健一郎
(いしだ けんいちろう)

【専門分野】

ロボット支援手術
腹腔鏡手術
内視鏡手術
前立腺疾患

【認定資格】

日本泌尿器科学会：泌尿器科専門医・指導医
日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会：
泌尿器腹腔鏡技術認定医
日本泌尿器科学会・日本泌尿器内視鏡学会：
泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医師
日本がん治療認定医機構：がん治療認定医
ICD制度協議会：認定ICD
医学博士

【所属学会】

日本泌尿器科学会
日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会
日本化学療法学会
日本抗加齢医学会
日本ロボット外科学会

松波総合病院
ホームページ
泌尿器科 ▶

